



町長室だより

築上町長 新川 久三



梅雨明けも間近と思われれます。そして暑い日が益近くまで続きます。町民の皆様には暑気払いをいろんな方法でなさっておられるのではないのでしょうか。

第二回町議会で築城中学校基本設計費 否決される

6月4日から開会の町議会は18日に最終日を迎え、平成26年度一般会計補正予算(第一号)の審議で厚生文教常任委員会は、12日の委員会で築城中学校の建替え基本設計発注にかかる予算を認めないと委員全員で否決し、18日の厚生文教常任委員全員の発議でこの予算を削除する修正案が提出され、議員8人の修正案賛成で、修正案は基本設計費を除外したところで成立しました。

反対の理由は種々あるようですが、先ずは町長の新しい提案に概ね反対する者数名、将来50年後の人口減を考慮して椎田中学校と築城中学校を統合すべきであるからの理由で反対の者数名、現在部活動に生徒が集めにくいのでこの際統合すべきと反対等々の原案反対の意見でした。

私は町内の小中学校の校舎は建築後耐用年数がつつあり、現状を堅

持しつつ学校の建替えを行いますと選挙の公約に掲げて来ました。そしてまた、耐震調査の結果早急に耐震補強工事をやるか建替えを行わなければならない学校もあります。特に築城中学校の校舎は老朽化が著しく耐震強度不足でもあり建替えが必要で、体育館につきましては耐震強度がありますので躯体を残した大規模改修を行います。次に八津田小学校・椎田中学校とも耐震強度が不足するとの数値が出ています。ここ10年以内どの学校も建替えの事業を行わなければなりません。教育環境の整備は行政の最重要課題です。

私は中学校を統合しようとは一度たりとも考えたことはありません。現在の生徒数は椎田中学校一学年平均80人代、築城中学校が平均70人代で出生者数(年間150人)より160人)からすれば両中学校とも各学年のクラスは2クラス以上堅持できることは明らかです。

これが両中学校ともに1クラス40人未満になれば統合の検討を進めても遅くはないと考えています。みやこの町の犀川中学校は40人未満ですが豊津中学校、勝山中学校とは統合しないそうです。みやこの町は今の3中学校を母体に小中一貫校を目指すそうです。

私は多くの町民の皆様から両中学

校は合併しないでほしい旨の意見を頂いており、統合してほしいとの意見は修正案を提出した議員のみで、町民の意見は全く聞いていません。

教育委員会の意見は、現状において子どもたちが教育を受け易い環境、教師にとってもきめ細かな生徒指導や学習指導ができ、教師と生徒達とのふれあう時間も多くなることなどできていると考えています。また、他市町と比較しても本町生徒の学力は向上しており、教育内容の充実を図るためには現状の2校体制を堅持することが、生徒の人間性を養う最適な環境にあると伺っています。

私は椎田町長就任時から地域とともに学校はあり、地域と一体となつての学校を目指しており、「小学校は児童数が10人未満になれば小学校統合を地域の皆様に提案させていただきます」と申し上げていたら、地域で児童数増加に繋げるように頑張っています。平成15年小原小学校は全児童数が10名になった時があります。現在の児童数は18名と勢いを増しています。

以上の理由で中学校の統合は現時点では全く町長としては考えていません。修正案を可決した議員さんの再考を促すのみです。町民の皆様にはきちんとした何らかの方法で民意を承ります。

向暑の候になります。町民の皆様にはご自愛いただき健康管理に留意ください。

防災会議を開催しました

6月3日、自衛隊、警察・消防署、消防団、県・町関係機関などの代表者が集まり、築上町防災会議(会長:新川町長)が開催されました。この会議は、築上町地域防災計画の内容及び豪雨災害等への防災体制について審議し、各機関が連携して災害への対応を確認するものです。

築上町消防団員の取り組みとして、5月25日に団員約百人が災害に備え、土のう約二千袋を作製したとの報告がありました。

また、大災害に備え、築上町と町内チェーン店とが「応急生活物資等(食料品・飲料・医薬品・日用品生活品)の供給協力に関する協定」を締結したことを報告しました。

町では、今後も地域や関係機関と協力し、防災や災害対策への取り組みを進めていきます。



問い合わせ
総務課 行政係 (内線333)